

# 環境活動レポート



活動期間 : 2023年6月1日～2024年5月31日

株式会社 サンフジ

作成日 2024年10月31日

# I. 組織の概要

## 1. 事業所名及び代表者名

株 式 会 社 サ ン フ ジ

代 表 取 締 役 芹 澤 亘

設 立 年 月 日 平成 16 年 12 月 24 日

資 本 金 2000 万円

## 2. 所在地

本社	静岡県御殿場保土沢 1090 番地の 5
秦野営業所	神奈川県秦野市上大槻 1036 番地
SANFUJI BASE	静岡県御殿場市新橋 1289 番地の 130
資材センター	静岡県御殿場市保土沢 1090-5
ウッドリサイクルセンター	静岡県御殿場市保土沢 1092

## 3. 環境管理の責任者、連絡先

環境管理責任者：渡辺 尊則

連絡先 電話：0550-70-6303

FAX：0550-70-6304

## 4. 事業の内容

産業廃棄物の収集運搬業・中間処理業

建設業（仮設工事・土木工事・解体工事など）

## 5. 事業規模（6 月～5 月）

活動規模	単位	第 18 期	第 19 期	第 20 期
売上高	百万円	1,096	1,048	1,431
受託した産業廃棄物収集運搬の量	t	9,248	9,448	8,787
従業員	人	35	42	49
事務所床面積	m <sup>2</sup>	234	234	390.49
工場等床面積	m <sup>2</sup>	200	200	1,385

## 6. 取得認可・許可

### ①産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬、積替え保管

許可者	許可番号	許可の年月日	許可の有効年月日	取扱品目
静岡県知事	第 02202160982 号	令和 3 年 8 月 30 日	令和 8 年 8 月 29 日	廃プラスチック類、金属くず ガラ・コン・陶、がれき類 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸 廃アルカリ、紙くず、木くず 繊維くず 12 品目 （石綿含有廃棄物を含む） （水銀使用製品産業廃棄物を含む） ※特別管理産業廃棄物除く 特別管理産業廃棄物 引火性廃油、腐食性廃酸 腐食性廃アルカリ（静岡県、東京都）
静岡県知事（特管）	第 02251160982 号	令和 5 年 9 月 13 日	令和 10 年 9 月 12 日	
東京都知事（特管）	第 13-50-160982 号	令和 5 年 8 月 24 日	令和 10 年 8 月 23 日	
東京都知事	第 13-00-160982 号	令和 3 年 10 月 11 日	令和 8 年 10 月 10 日	
千葉県知事	第 01200160982 号	令和 3 年 12 月 2 日	令和 8 年 10 月 20 日	
山梨県知事	01900160982 号	令和 3 年 10 月 21 日	令和 8 年 10 月 20 日	
神奈川県知事	01404160982	令和 3 年 12 月 13 日	令和 8 年 8 月 31 日	
群馬県知事	01000160982	令和 7 年 3 月 16 日	令和 12 年 3 月 15 日	
埼玉県知事	01100160982	令和 4 年 6 月 9 日	令和 9 年 4 月 2 日	
愛知県知事	第 02300160982 号	令和 4 年 4 月 25 日	令和 9 年 4 月 9 日	
三重県知事	第 02400160982 号	令和 7 年 5 月 21 日	令和 12 年 5 月 18 日	

### ②産業廃棄物処分業（中間処分）

許可者	許可番号	許可の年月日	許可の有効年月日	事業の範囲
静岡県知事	第 02221160982 号	令和 5 年 11 月 7 日	令和 10 年 11 月 6 日	中間処分 破碎処分 — 木くず

- ・処理能力：破碎施設（2 台）： 木くず…135.04 t/日（8.0 時間）
- ・フロー図：木くず⇒受入れ⇒破碎施設⇒選別⇒①原料チップ販売、②燃料チップ販売

### ③特定建設業

許可者	登録番号	許可の年月日	許可の有効期限	種類
静岡県知事	静岡県知事許可（特-06） 第 34826 号	令和 6 年 9 月 3 日	令和 11 年 9 月 2 日	土木、建築、とび・土工、石、銅構造物、舗装、しゅんせつ、塗装、水道施設、解体工事業

収集運搬許可車両：10t アームロール車 7 台    10t ダンプトラック 3 台    10t セルフ 1 台  
8t アームロール車 1 台    8t ダンプトラック 1 台    8t セルフ 2 台  
4t アームロール車 4 台    4t パッカー車 1 台    3t ユニック車 1 台  
3t アームロール車 1 台    2t ダンプトラック 1 台  
2t アームロール車 1 台    2t ダブルキャブ車 1 台    軽トラック 1 台  
他の保有機材：4t 平ボディ車 5 台    フォークリフト 4 台    高所作業車 1 台  
1.2 バックホー 1 台    0.7 バックホー 5 台  
0.7 バックホー 1 台（ハイブリット）  
0.45 バックホー 7 台    0.25 バックホー 3 台    0.15 バックホー 2 台  
ホイールローダー 3 台    フォワーダ 2 台  
移動式破碎機 2 台    ふるい機 1 台

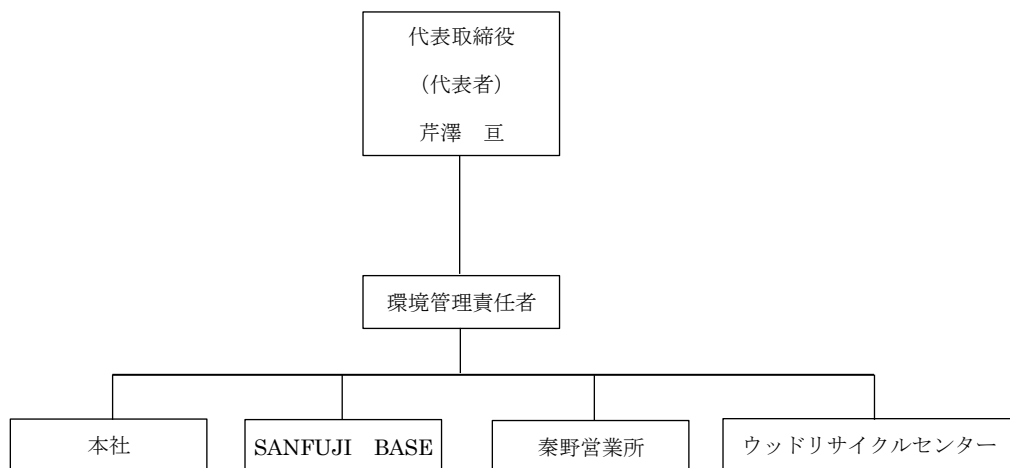
## 7. 認証範囲

事業活動      土木工事、足場設置、建物解体業、産業廃棄物収集運搬・中間処理業

対象事業所      本社、ウッドリサイクルセンター、秦野営業所、SANFUJI BASE

## Ⅱ．環境実施体制

実施体制	制定	2011.8.1	改訂	2020.7.1
------	----	----------	----	----------



担当	役割・責任・権限
代表取締役 代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコアクション 21 に関する代表責任者</li> <li>・エコアクション 21 実施における人材、設備、費用を用意する。</li> <li>・環境管理責任者の任命を行う。</li> <li>・環境方針の制定、改訂及び全社員への周知</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施する。</li> <li>・環境マネジメントシステムの承認</li> <li>・経営における課題とチャンスの明確化</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境マネジメントシステム全体の構築、運用、維持に関する実務上の権限を有する。</li> <li>・代表者への報告</li> <li>・環境マネジメントシステムの構築、実施及び運用管理</li> <li>・環境事務局、エコアクション 21 に関する文書作成及び改訂</li> <li>・環境目標及び環境活動計画案の作成</li> <li>・環境関連法規等のとりまとめ及び遵守状況のチェック</li> <li>・取組に必要な場合の手順書案</li> <li>・事故及び緊急事態の想定結果及びその対応策の策定</li> <li>・環境負荷の自己チェック、取組の自己チェックの実施</li> <li>・環境活動レポートの作成</li> </ul>
全社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の確認・理解</li> <li>・各個人における環境マネジメントシステムの実施</li> </ul>

## Ⅲ．環境方針

### 【基本理念】

私たちは身のまわりの環境を保護するため、一人々が環境保全の重要性を認識し、具体的な行動を実践します。この行動は、産業廃棄物処理等関連する企業、諸団体にも共鳴を求めながら、以下の環境方針を定めます。

### 【行動指針】

当社は、建設業（足場設置）、産業廃棄物収集運搬業を営んでいます。

環境基本理念に基づいた環境経営システムを構築し、環境負荷軽減と環境に配慮した継続的な活動を展開いたします。

#### 1．環境関連法規（廃棄物処理法等含）の遵守

直接業務に関連する廃棄物関連法を遵守しつつ、関連規制などの最新情報を常に収集することに努めます。

#### 2．環境負荷低減活動の取組を行い、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の削減に努めます。

- 1) 電気、軽油、ガソリン、廃棄物、水の削減への取組み
- 2) グリーン購入の実施

#### 3．環境に配慮した取組み

自社解体建設副産物については環境に配慮したリサイクルに努めます。

#### 4．環境方針は文書化し、当社で働く人又は当社のために働くすべての人に周知させることにより、環境保全意識の向上をはかります。環境方針は文書化し、当社で働く人又は当社のために働くすべての人に周知させることにより、環境保全意識の向上をはかり、継続的な活動を実施します。

制定 2021年7月1日

株式会社 サンフジ

代表取締役 芹澤 亘



## Ⅳ. 環境目標〈中期目標〉

項 目	単 位	第 19 期	第 20 期	第 21 期	第 22 期
		2022年6月～ 2023年5月	2023年6月～ 2024年5月	2024年6月～ 2025年5月	2025年6月～ 2026年5月
		基準	1%削減	2%削減	3%削減
1. 二酸化炭素総排出量の削減	Kg-CO2/年	497,706	1%削減	2%削減	3%削減
2. 電気使用量の削減	kwh/年	62,640	1%削減	2%削減	3%削減
3. ガソリン使用量の削減	ℓ/年	27,905	1%削減	2%削減	3%削減
4. 軽油使用量の削減	ℓ/年	157,489	1%削減	2%削減	3%削減
5. 水使用量の削減	m3/年	234	現状維持	現状維持	現状維持
6. 一般廃棄物の削減	t/年	0.6	1%削減	2%削減	3%削減
7. グリーン購入（事務用品）	—	—	推進	推進	推進
8. リサイクル率向上	%	100%	98%以上	98%以上	98%以上
9. ウッドリサイクル量	t/年	—	実績把握	+10%	+15%
10. 環境配慮	回	2回実施/年	2回実施/年	2回実施/年	2回実施/年

※ ウッドリサイクルセンターの増設及び仕事量の増加に伴い、基準を新たに第 19 期の実績とする。

※ 水使用量は今までの削減の結果これ以上削減は難しいので現状維持とする。

※ 産業廃棄物の削減は、仕事量によって変わるので、「リサイクル率向上」とする。

## V. 環境目標とその実績

運用期間<2023 年 6 月～2024 年 5 月>

項 目	単 位	基準	目標%	目標値	年換算実績	評価
		第 19 期	第 20 期		第 20 期	
		2022 年 6 月～ 2023 年 5 月	2023 年 6 月～ 2024 年 5 月		2023 年 6 月～ 2024 年 5 月	
1.二酸化炭素総排出量	kg-CO2/年	499,706	1 %削減	494,708	660,047	×
2.電気使用量の削減	KWh/年	62,640	1 %削減	62,013	201,559	×
3.ガソリン使用量の削減	ℓ/年	27,905	1 %削減	27,625	31,583	×
4.軽油使用量の削減	ℓ/年	157,489	1 %削減	155,914	197,102	×
5.水使用量の削減	m3/年	234	実績把握	実績把握	304	○
6.一般廃棄物の削減	t/年	0.6	維持目標	維持目標	0.6	○
7.グリーン購入（事務用品）	—	—	推進	—	推進	○
8.リサイクル率向上	%	100%	98%以上	98%以上	98%	○
9 環境配慮 （事業用エアコン点検）	回	2 回実施/年	維持	2 回実施/年	年 2 回実施	○

※ 第 20 期は、第 19 期の実績を基準とし、基本 1 %削減を目標とした。

※ 電力のCO2換算係数は、東京電力の 2024 年の 0.376kg-CO2/kWh を用いた。

### <目標未達成事項の是正>

No.	未達成項目	発生原因	今後の処置
1	二酸化炭素排出量	当社は、軽油使用量が全体の 8 割を超えるので、軽油の増加により目標を超過した。	仕事量増加によるものは止むを得ない。エコドライブを心がける。
2	電気使用量	2023 年 9 月よりウッドリサイクルセンターが稼働したので、使用量が増えた。	今後は、基準年度を変えることを検討する。
3	ガソリン使用量	業務拡大により現場への移動が多くなったため。	エコドライブを心がけつつ今後の推移を見る。
4	軽油使用量	収集運搬量及び重機使用量が多くなっているために、軽油使用量が大幅に増加した。	同上
5	一般廃棄物	少量にて削減困難なので目標超過。	少量なので、「維持目標」に変更する。



## VI. 環境活動計画の 2023 年度 取組み結果とその評価、 2024 年度 of 取組内容

取 組 み 計 画	達成状況	取組み結果の評価	今後の取組み
電力使用量の削減 ① 省電力照明への 取り換え ② 再度無駄の見直しを する	○	① 一部 LED 切替 ② こまめに照明の 消灯を行った ③ エアコンはタイ マーを使う ④ 省電力モードの 設定を利用する	②③④次年度も継続して行う
ガソリン・軽油使用料の 削減 ① 営業用車両のアイド リングストップ ② タイヤに窒素ガスを 充填する（空気圧の 定期チェック） ③ 運行ルートを事前に 検討する ④ 重機等のスロットル を8割ぐらいに絞る	○	① 夏季は熱中症対 策としてアイド リングをストッ プすることがで きなかった ② 機会があったも のは充填した ③ 急な変更時には 事前に検討でき なかった ④ 配慮してできた	① ウォームピズ を活用しながら 可能な限り アイドリング ストップする ② 次年度も継続 して行う ③ 渋滞エリアな どの情報共有 を行う ④ 次年度も継続 して行う
産業廃棄物排出量の削減 ① 分別解体を徹底する	○	① 可能な限り分別 解体できた	① 次年度も継続 して行う

<p>上水使用料の削減</p> <p>① 節水の表示をする</p> <p>② 節水に努める</p>	○	<p>① 表示を行った</p> <p>② 可能な限り行った</p>	①②次年度も継続して行う
<p>リサイクル率向上</p> <p>① 印刷済用紙の裏面利用促進</p> <p>② 紙から電子化へ可能な限り行う</p>	○	<p>① 可能な限り利用できた</p> <p>② 可能な限り行った</p>	①②次年度も継続して行う
<p>リサイクル率向上</p> <p>① グリーン購入適合品の商品の購入</p>	○	① コピー用紙を中心に適合商品があるものは確認して購入を行った	① 次年度も継続して行う
<p>環境配慮</p> <p>① 事業用エアコンの点検</p>	○	① 点検を行った	① 次年度も継続して行う

## VII. 環境関連法規等の遵守状況及び評価並びに違反、訴訟の有無

(1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

環境関連法規等の遵守に関し、指摘、違反等はありませんでした。

遵守評価者：環境管理責任者

遵守評価日：2024年5月31日

法規制等の名称	該当する要求事項	該当設備・項目	届出・報告先	遵守評価	
				評価項目	結果
廃棄物処理法	《産業廃棄物》 ・産業廃棄物委託業者との契約  ・マニフェストの集計 ・報告	扱い品目 添付許可証のとおり	知事へ届出	契約書・許可証	○
			知事へ報告	マニフェスト管理	○
労働安全衛生法	解体・改修工事に伴う「石綿等」の除去作業（石綿障害予防規則）	「石綿等（石綿及び重量比0.1%超含有物）使用建築物等」の飛散性及び保温材等の解体、封じ込め・囲い込みを含む除去作業	レベル1・2 労働基準監督署	作業計画・測定記録	○
			レベル3 知事へ届出		
建設業法	建設業の更新及び有資格者登録	5年毎の更新	都道府県知事	登録証	○

騒音・振動 規制法	解体工事（特定作業） における騒音・振動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定作業</li> <li>・書類の事前届け出</li> </ul>	該当自治体		○
建築基 準法	構築物解体工事に おける規制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書類の事前届け出</li> <li>・基準の遵守</li> </ul>	該当自治体		○
建設リ サイクル 法	新築工事及び解体改修工 事 【特定建設資材】・コンクリート （プレキャスト鉄筋コンクリート版 を含む）、木材、アスファルトコン クリート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・解体工事-80 m<sup>2</sup>以上・ 新築・増築工事-500 m<sup>2</sup> 以上・修繕・模様替工事 -1 億円以上</li> <li>・その他の工作物に関 する工事（土木工事等） 500 万円以上</li> </ul>	都道府県知事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発注者への書 面による計画等 説明・工事着手 する日の7日前 までに必要事項 を都道府県知事 に届け</li> <li>・発注者へ書面 による完了報 告・分別解体等・ 再資源化等の促 進・再生資源の 使用</li> </ul>	○
オフ ロード 車 法	協力会社の持ち込み建 設機械など	ブルドーザ、クローラ クレーン、くい打ち機、 タワークレーン、ドリ ルジャンボなど 協力会社の持ち込み建 設機械など		<ul style="list-style-type: none"> <li>・適合証明</li> <li>・平成 18 年 4 月施行前販売証 明</li> </ul>	○
浄化 槽 法		事務所浄化槽	都道府県知事の 指定検査機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期検査</li> <li>・保守点検・清掃</li> <li>・法定検査の実施</li> </ul>	○
道路交 通 法	指定地域での排出基準 遵守	公道を使用する全ての 車両		<ul style="list-style-type: none"> <li>・違反の有無</li> </ul>	○
フロン排 出 抑制 法	点検及び廃棄時許可者 への引き渡し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業用エアコン</li> <li>・重機エアコン (4.5・7.5)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期点検</li> </ul>	○
別 措 置 法 特 別 法	2027 年 3 月 31 日ま でに適正に処分	SANFUJI BASE 変圧器 （低濃度 PCB 廃棄物）	都道府県知事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保管</li> <li>・処分時にマニ フェスト管理</li> </ul>	○

## (2) 訴訟などの有無

今迄に、利害関係者からの訴訟等は、一切ありませんでした。

## 緊急事態の想定結果及び対応策

想定結果	現場作業中に作業員のひとりが熱中症を発症し倒れたことを想定する。
対応策	<p>① 周りの作業員は作業を停止し現場責任者に連絡を行う。</p> <p>② 現場責任者は 119 番通報し、救急車が到着するまで周りの作業員は応急処置を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冷所で安静にする</li> <li>・ 体を冷やす</li> <li>・ 水分と塩分の補給</li> <li>・ 必ず誰かが付き添う（ひとりにしない）</li> </ul> <p>③ 会社・関係各所へ連絡を行う。</p> <p>④ 救急車で搬送後、本社へ連絡する。</p>
予防策	<p>① 朝礼を行い当日の体調等を確認してから作業を開始する。</p> <p>② 脱水症状のセルフチェックを各自行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手の甲の皮膚による脱水状態のチェック つまんで皮膚が元に戻る時間を見る 2 秒以上かかるなら脱水気味</li> <li>・ 爪押しで脱水状態のチェック 手の親指の爪を反対の指で白くなるまでつまみ、指を離した後ピンク色に戻るまで 3 秒以上かかる場合は脱水症状</li> <li>・ トイレで尿の色をチェック 尿の色により判断する。いつもより色が濃くなっていれば脱水症状が進んでいるので水分を補給する</li> <li>・ 直線を歩きふらつきのチェック 地面に直線を引き、その上をあるきふらつきがないかを確認する</li> </ul> <p>③ 空調服を着用する</p> <p>④ 単独作業を避けて声を掛け合う やむを得ず一人作業になる場合は周りの人が声を掛けるように心掛ける</p> <p>⑤ 監督者（現場責任者）は一定時間ごとに現場パトロールを行う 作業員に声をかけ、安全確保に努める</p> <p>⑥ 水分、塩分の補給 のどが渇いていなくても、こまめに水分、塩分を補給する</p> <p>⑦ こまめに休憩する 休憩時間中は出来るだけ体を冷やす</p>
定期的訓練日	2024 年 5 月 19 日
訓練内容及び	サンフジ保土沢資材センターで訓練を実施した。

<p>訓練結果</p>	<p>セルフチェックの方法及び作業員が倒れたことを想定し、連絡対応、応急処置の方法を参加者全員で確認した。また、各作業員、現場責任者に作業中の異変に気付ける気配りを行うことの指導を行った。</p> <p>熱中症の危険性を認識し予防策、応急処置方法が実施できるようになった。</p> <p>参加者 大西常務・山田・大月 他 11 名</p>
-------------	---

## Ⅳ. 環境目標〈中期目標〉

### Ⅷ. 代表者による全体評価と見直しの結果

#### 【全体評価】

環境マネジメントシステムの運用を始めて 10 年が経ちました。  
目標達成できた部分もありましたが、順調に業務拡大が続き、各種使用量が増加してしまっています。売上高増加に気を緩めることなく、引続き環境負荷の低減に努めるとともに、今後も社内の体制を整え目標達成につながるよう努力していきたいと思いをします。

#### 【今後の展開】

2023 年度には産業廃棄物中間処理施設（木くず）が完成いたしまして、11 月より操業が始まりました。中間処理施設の操業が始まると今後環境への負荷の増加が見込まれます。業況活発につき環境負担の増加の可能性もありますが、今後も燃料使用量の削減のため事前に運行ルートを検討し、アイドリングストップの励行や電気使用量の軽減等できる限り努力を積み重ねます。情報の取得を積極的に行い、参考になる取組は積極的に取り入れて活動に活かしていきたいと思いをします。また御殿場市 SDGs クラブにも賛同し自社および地域貢献にも努めていく所存です。

#### 【指示事項】

2023 年度は、環境方針及び環境実施体制を維持します。  
環境目標〈中期目標〉は 2022 年度を基準に目標活動を見直します。

2024 年 10 月 31 日

株式会社 サンフジ  
代表取締役 芹澤 亘

